



さゆりっ子

No.7

文責 若林一成

その子なりの歩み

玄関に置いてある水槽。中にはハヤが3匹棲んでいま
す。一か月もすると澄んでいた水が見事に緑色に濁ってき
ます。「園長先生、お魚さんがかわいそうだよ。」元気な年
長の男の子が話しかけてきました。私もそろそろ替えない
と思っていたので、男の子の一言がピタッと自分と重なり
気持ち良かったです。男の子の学級には園で捕まえたサ
ワガニを飼ってくれています。日頃から生き物に対する関
心があつて、水槽の濁りにも自ずと気づいてくれたのかな
と思いました。きれいな水槽の中で泳ぐお魚さんをまた覗いてほしいです。



10 / 19

「だれが一番大きくできるかな。」と始
めたお山づくり。

Aちゃん「みんなのお山がつながってき
た〜!」

Bちゃん「みんなでやれば大きくなるか
も?」

と盛り上がっていきました。

そんな中「ぼくのお山、だめ!」と怒って
いたCちゃん。

(しばらくして)

一つの山になると「お誕生会やろう!!」

Cちゃんは木のロウソクを立ててくれ
ました。

「大きなお山を作りたい」という思いで砂山づくりに向かっていた子どもたち。出来上が
ってくるお山を見ているうちにアイデアが浮かんできました。園での経験を通して『みん
なで』やることの楽しさを実感してきている年少さんらしいBちゃんの言葉に他の子も動
き出します。

Cちゃんはどうでしょうか。自分のお山にこだわり、まだまだ高く、大きくしたいので
しょう。エッ!一つになったら自分のお山がなくなっちゃう。(つまらない)なんて思っ
ていたかもしれません。どうなっていくかよくわからずに不安になっていたかもしれませ
ん。

(しばらくして)が大事な時ですね。敢えてそっと見守ることでCちゃんの不安が解消
され、新たな楽しみ方を見つけました。

余裕のあるかわりの大事さを考えさせられました。

10/19 未満さん

初めて、2クラス一緒に集団遊びをした。今日はかくれんぼを鬼を交代しながらやった。Wちゃんは最初どこをどう探したらいいのかわからない様子で「みつけた。」という声のする方に歩いていくという段階からかわっていった。そのうちにあえて誰も探していない場所の方に行ってみたり、走り出したりしてきた。

Wちゃんの動きを『かくれんぼを見ているうちに自分も「みつけた。」をやりたくなって、隠れていそうな場所を考えたり、早く探そうと走ったりする意欲ある姿だ』と担任は記録してくれています。

ここでも（そのうちに）がキーポイントになってきます。自分の気持ちを十分に表現しきれない時こそ、その子の動きから察することがその子を理解するためにはとても大事になってきます。



隠れる番になった時は、そっと息を潜め、一言も声を発しないぐらい静かに隠れていた。Wちゃんのペースに合わせて集団遊びに参加できてよかった。

なんと健気な姿でしょうか。初めての「かくれんぼ」という遊びをWちゃんなりに一生懸命理解し、参加していく姿はとっても素敵だなと思います。

そしてこんなにも「素敵な子どもたちの姿」を保護者のみなさんともっと、もっと共有していきたいなとも思いました。

さびしい、けどうれしいな（10/25）

「息子に、ここでいいって言われて…」

朝、園門から少し入ったところからどうやら一人で行くと言いだめたとのこと。それまでは下駄箱の横までついて行って、「行ってらっしゃい。」と声をかけてのお別れでしたが、下駄箱までは来なくていいということになったようです。

我が家では孫と一緒に風呂に入ると、最後に一緒に「1, 2, 3…10。」と数えてから上がるのが習慣になっている。湯に入っている時は、ずっと私の伸ばした足にお座りしていた。ところが先日急に「自分で座るから。」と膝を曲げて、肩まで湯につかり10まで数えるようになった。（なってしまった。）

幼稚園での水遊びを過ぎてから水への抵抗がすっかりなくなってきた。顔に水が掛かることを怖がっていたのもいつの間にか大騒ぎしなくなってきた。水との距離が縮まり、お風呂でも自分なりの行動範囲は広がってきたということだろう。

子どもの成長から見ればとってもうれしいことであるが、「まだまだ一緒にいたい。」と思いたいのも実感である。子育ては楽しい！



<困っています>

サツマイモの収穫を終えた畑を耕してくださる方を探しています。元は田んぼだったため家庭用の耕運機では十分に深く耕すことができません。

お近くにご協力いただける方がいらっしゃいましたら園長まで連絡をお願いします。（さゆり幼稚園 T e l 026-275-0370）